

シラバス参照

授業科目名	リハビリテーション概論
単位数	1
授業形態	講義
講義コード	6008
授業担当者氏名	下田 信明(シモダ ノブアキ)

授業の到達目標 (ディプロマポリシーとの関連)	1. リハビリテーションの理念・概念を説明できる。(DP1, DP2, DP3) 2. リハビリテーション専門職の役割を説明できる。(DP3) 3. 障害別・疾患別リハビリテーションを説明できる。(DP3)																									
授業概要	リハビリテーションの全体像を学ぶ。その主な内容は、リハビリテーションの概念、理念、歴史、リハビリテーションの対象となる障害、障害の意味（国際障害分類および国際生活機能分類による）、障害者の種別と人数、障害者の心理、リハビリテーションチームの構成と関連職種、リハビリテーションの関連施設（回復期リハ病院、介護老人保健施設、通所リハ、訪問リハ等）、リハビリテーションの諸制度と関係法規および行政に関することである。また、リハビリテーション看護の役割について学修する。																									
科目ナンバリング	1-KRS-2-M08-1-1/1-KRR-2-M08-1-1																									
科目ナンバリングについて	科目ナンバリングとは、授業科目に各々の番号を付すことで、学問分野や学修の段階等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことです。科目ナンバーは次のように構成されています。 1 - AAA - 1 - A01 - 1 - 1 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (1)設置 大区分(大学・短大) (2)設置 小区分(学部、学科、専攻等) (3)科目分類 大区分(共通科目、専門科目等) (4)科目分類 小区分(学問分野を体系化し分類) (5)配当学年 (6)科目種別(卒業に係る必修・選択の区分) 詳細は下記をご覧ください。																									
科目ナンバリング参照ページ	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/course_number/post_3.html																									
授業の特徴	<table><tr><th>特徴</th><th>該当</th></tr><tr><td>A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり</td><td></td></tr><tr><td>B: 課題解決型(PBL)連携なし</td><td></td></tr><tr><td>C: 討議(ディスカッション、ディベート等)</td><td>○</td></tr><tr><td>D: グループワーク</td><td>○</td></tr><tr><td>E: プレゼンテーション</td><td></td></tr><tr><td>F: 実習、フィールドワーク</td><td></td></tr><tr><td>G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)</td><td></td></tr><tr><td>H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)</td><td></td></tr><tr><td>I: 反転授業</td><td></td></tr><tr><td>J: 外国語のみで行われる授業</td><td></td></tr><tr><td>K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業</td><td></td></tr></table>		特徴	該当	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり		B: 課題解決型(PBL)連携なし		C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	○	D: グループワーク	○	E: プレゼンテーション		F: 実習、フィールドワーク		G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)		H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)		I: 反転授業		J: 外国語のみで行われる授業		K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業	
	特徴	該当																								
	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり																									
	B: 課題解決型(PBL)連携なし																									
	C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	○																								
	D: グループワーク	○																								
	E: プレゼンテーション																									
	F: 実習、フィールドワーク																									
	G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)																									
	H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)																									
	I: 反転授業																									
	J: 外国語のみで行われる授業																									
	K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業																									
実施形態	対面授業科目																									
実施形態について	※本学では、授業科目を以下のとおり分類しています。 対面授業科目 : 授業回数の全部あるいは授業回数の半数以上を対面で行う授業科目 メディア授業科目 : 上記「対面授業科目」以外で、主にメディアで行う授業科目 ※上記実施形態と異なる授業回がある場合は、以下「授業計画」欄に記載しています。																									
授業計画	<table><tr><td>第1回</td><td>オリエンテーション. 医療・保健・社会福祉とリハビリテーション</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		第1回	オリエンテーション. 医療・保健・社会福祉とリハビリテーション																						
	第1回	オリエンテーション. 医療・保健・社会福祉とリハビリテーション																								

	第2回	国際障害分類(ICIDH)と国際生活機能分類(ICF)	
	第3回	理学療法, 作業療法, 言語聴覚療法	
	第4回	関節可動域訓練, 筋力増強訓練	
	第5回	高次脳機能障害	
	第6回	脳卒中, パーキンソン病	
	第7回	脳性麻痺と発達障害	
授業外学修 予習(事前学修)	各授業	教科書の該当箇所を読んでおくこと	
	100分		
授業外学修 復習(事後学修)	各授業	毎回の講義ごとに, A4用紙1枚程度に, 講義内容の要約を行うこと	
	100分		
評価方法	課題レポート(100%)		
教科書等	教科書:PT・OT・ST・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 改訂第4版(診断と治療社)		
課題に対するフィードバックの方法	manaba, ポータルなどにより伝達する.		
その他			
授業担当者の実務経験の有無	実務経験あり		
「授業担当者の実務経験の内容」および「実務経験を活かした授業内容」	病院・老人保健施設などに勤務した経験を有する教員が作業療法学の概要について解説する.		
ファイル			